

東田小学校学校運営協議会令和5年（2023年）度

2023年（令和5年）4月22日（土） 会長挨拶 23-RO-1

この度の杉並区の人事異動により森田康之校長先生が退任され、杉並第七小学校から齋藤瑞穂校長先生が交代着任されました。

森田先生は3年前のコロナ禍での困難な状況でICT情報通信技術の一早い導入による対面授業の中断中において其の先進的な主導力を発揮されました。

そして3学年以上の学童は今では当たり前のようにパソコンを駆使できるようになりました。このようなすばらしい成果をあげられた東田小学校に新たに隣の学区の阿佐ヶ谷地区から齋藤瑞穂校長先生を迎えることになりました。

4月6日（水）令和5年度東田小学校の入学式の当日初めて齋藤瑞穂校長先生にお会いすることになりました。昨年度の入学式は田中区長のオンラインによる入学祝辞から始まり、モーニングの正装の森田校長先生の入学の祝辞でした。

今回は岸本聡子新区長の祝辞は割愛され齋藤瑞穂新校長先生の挨拶から始まりました。

新入生を相手の祝辞で始まりました。壇上の齋藤校長先生は紙袋の中から3枚のカードを出されて一年生に語り掛けました。ひらがなのカードには、【たくましさ】【かしこさ】【やさしさ】と書かれておりました。新入生中心に考えられた祝辞である様に思えました。人生においてこの小学校の新入生は今後の教育課程で初めての入学式であり、そのあと、中学校、高等学校、大学と教育を受けるために入学式が続きそれなりの新しい経験を踏みます。その長い教育の後に就職先での入社式と続くこととなります。

初めての小学校の入学式のこと学童らには将来あまり記憶に残らないかもしれないが少なくとも写真での記憶として残ることにはなるでしょう。

今回の入学式はなんといっても育てた保護者、家族にとっては子育ての第1段階の最初の達成感としての感動の場だと思われれます。かつては地域の代表的な公式行事の式典から子供と親の私的な行事式典と変貌していること、また教師にとっても新鮮な学期の始まりとしての決意の場でもあると感じました。

齋藤校長先生の杉並第七小学校でのご体験、転入された杉並区とそれ以外の、青梅、三鷹、品川地区の先生方が新しい風を吹き込んで下されると大いに期待しております。

ささやかですが学校運営協議会としても新学期からの新体制の構築に貢献いたしたく存じます。

小原理一郎 以上